

問1 日本企業が海外の工場建設や現地法人設立のために資金を投入することを何という？

1. 間接投資 2. 公的融資 3. 証券投資 4. 直接投資

問2 日本企業がコスト削減を目的に生産拠点を海外へ移転した結果、国内の産業が衰退してしまう現象を何という？

1. 製造業 2. サービス業 3. 運輸業 4. 建設業

問3 火山の地下にあるマグマの熱を利用して発電する方法を何という？

1. 風力発電 2. 地熱発電 3. 太陽光発電 4. バイオマス発電

問4 太平洋ベルトを中心に発展し、日本の主要な輸出製品を製造している産業分野を何という？

1. 自動車工業 2. 石油化学工業 3. 機械工業 4. 製鉄業

問5 愛知県を中心に広がり、自動車の生産額が日本で最も多い工業地帯を何という？

1. 鉄鋼業 2. 自動車工業 3. 機械工業 4. 石油化学工業

問6 特定の企業や工場を中心に、関連企業が集中して町全体が成り立っているような形態を何という？

1. 門前町 2. 港湾都市 3. 学園都市 4. 企業城下町

問7 京浜工業地帯において、東京都と接しており、横浜港などの重要な港湾を持つ県はどこ？

1. 愛知県 2. 兵庫県 3. 福岡県 4. 神奈川県

問8 漁獲量を安定させるため、海産資源を管理しながら積極的に増やす仕組みを何という？

1. 遠洋漁業 2. 沿岸漁業 3. 資源管理型漁業 4. 沖合漁業

問9 促成栽培が盛んで、京浜や京阪神といった大都市へ野菜を出荷している四国の県はどこ？

1. 群馬県 2. 長野県 3. 北海道 4. 高知県

問10 温暖な気候を利用して、通常よりも早く野菜を収穫する栽培方法に最も適している地域はどこ？

1. 太平洋側 2. 中央高地 3. 瀬戸内側 4. 日本海側

問11 関東地方から九州にかけて、日本の製造業が集中している沿岸地域を何という？

1. 中央高地 2. 日本海側 3. 九州北部 4. 太平洋側

問12 冬の寒さを防ぎ、気温をコントロールして促成栽培を行うために積極的に利用される設備を何という？

1. コンバイン 2. トラクター 3. ビニールハウス 4. スプリンクラー

問13 大都市の消費者に新鮮な野菜を届けるため、都市の近隣で行われる農業を何という？

1. 近郊農業 2. 促成栽培 3. 企業的農業 4. 抑制栽培

問14 現在、阪神工業地帯において大阪府から兵庫県にかけて集積している、石油精製やプラスチック製品などを作る工業を何という？

1. 繊維工業 2. 機械工業 3. 化学工業 4. 鉄鋼業

問15 貿易摩擦を解消するために、日本企業が消費地の近くに工場を建設して生産を行うことを何という？

1. 輸出拡大 2. 輸入制限 3. 委託生産 4. 現地生産

答え合わせ・解説

問1	答え 4 直接投資	「直接投資」とは、単なる証券投資とは異なり、海外で現地生産のための拠点を設けるような経済活動を指します。これにより、現地での雇用創出や技術移転が行われる一方、国内での生産活動が減少するという側面も持ち合わせています。
問2	答え 1 製造業	国内の工場が減ることで、関連する下請け企業への発注が減り、地域の雇用が失われるなどの問題が起きました。これを「産業の空洞化」と呼びます。特に国内のモノづくりを支えてきた製造業において大きな打撃となりました。
問3	答え 2 地熱発電	「地熱発電」は、地下から取り出した蒸気でタービンを回転させて電気を作ります。天候や昼夜に左右されず、安定した発電が可能なベースロード電源として注目されています。東北や九州地方を中心に、国立公園内などの地熱資源が豊富な場所で主に導入されています。
問4	答え 1 自動車工業	自動車工業は、鉄鋼、機械、電気など数多くの関連産業から成り立つ「すそ野の広い産業」です。多くの部品を港に近い工場を組み立て、完成車として世界へ輸出する体制が整っています。
問5	答え 2 自動車工業	中京工業地帯は自動車工業の生産額で日本一を誇ります。完成車メーカーだけでなく、数多くの下請け企業や部品メーカーが周囲に集積し、効率的な生産システムが確立されています。
問6	答え 4 企業城下町	企業城下町とは、ある大企業の工場が町の経済や雇用を支える中心となっている都市を指します。雇用が安定し、地域経済がその企業に依存する一方で、インフラ整備などが進むという特徴があります。
問7	答え 4 神奈川県	神奈川県の沿岸部には、京浜工業地帯の主力工場や物流倉庫、研究所が数多く存在します。特に横浜港は、古くから国際貿易港として日本と世界を結ぶ役割を果たしてきました。
問8	答え 3 資源管理型漁業	資源管理型漁業は、漁獲量に制限を設けたり、稚魚を放流したりして、資源を枯渇させないように管理する手法です。特に栽培漁業と密接に関連しており、自然の海を上手に活用する技術が重要視されています。
問9	答え 4 高知県	高知県は太平洋に面しており、冬でも日照時間が長く非常に温暖です。この気候を活かし、ビニールハウスを用いた促成栽培によって、冬から春にかけてナスやピーマンを京浜や京阪神などの大消費地へ大量に出荷しています。
問10	答え 1 太平洋側	促成栽培とは、気温の高い地域や施設を利用して、野菜の収穫時期を通常より早める技術です。冬に収穫できることで市場価格が高くなりやすい時期に出荷できるため、農家の収益向上にもつながります。
問11	答え 4 太平洋側	太平洋ベルトと呼ばれるこの地域には、京浜や阪神などの主要な工業地帯が並んでいます。気候が温暖で人口も多く、巨大な消費地と生産地が近接しているため、工業の発展には非常に有利な条件が揃っていました。
問12	答え 3 ビニールハウス	ビニールハウスは、骨組みにビニールやプラスチックのシートを張り、内部の温度や湿度を管理する施設です。太陽光を透過させて内部を暖め、外気の影響を抑えることで、野菜の成長を早めることができます。
問13	答え 1 近郊農業	近郊農業は、大都市に近い平野部で行われます。消費地に近いため、収穫したその日に店に並べることが可能であり、鮮度が求められるほうれん草や小松菜などの生産が盛んです。
問14	答え 3 化学工業	化学工業は、石油や天然ガスなどを原料として、プラスチックや薬品、合成繊維などを生産します。阪神工業地帯では、中小企業が持つ高度な技術力が大手メーカーと連携し、付加価値の高い製品を生み出しています。
問15	答え 4 現地生産	「現地生産」は、製品を売る国の中で工場を運営する方式です。これにより、相手国の雇用を増やし、物流コストを抑えることができます。特に自動車産業では、日本メーカーがアメリカや欧州に大規模な工場を次々と建設しました。